

2014年9月号(第61号)

発行/企画 社協・編集会議

社会福祉法人横浜市戸塚区社会福祉協議会
住 所：〒244-0003 戸塚区戸塚町167-25
TEL：045-866-8434
FAX：045-862-5890
E-mail：info@totasukashakyo.com

社協とつか

赤い羽根共同募金にご協力をお願いします

今年も10月1日から赤い羽根共同募金が始まります。昨年度はおかげさまで**24,777**千円の募金が集まりました。今号では募金活動にご協力いただいている学校の取り組みと、その配分を受けて活動している団体の一部を紹介します。

●募金期間●

10月1日～12月31日

僕たち、私たちも協力しています！

倉田小学校「6年1組」の取り組み

今春卒業した倉田小学校「6年1組」は、5年生からの2年間“福祉”を授業のカリキュラムに組み入れ、その中で“募金”をテーマに、共同募金の仕組みなどについて話し合い、学習を重ねてきました。先生の「子どもたちに体感させたい！」という想いから、10月には、戸塚駅や地域行事等に出向き、民生委員・児童委員やボランティアさんと一緒に街頭募金に参加しました。

また、募金の配分を受けて活動している高齢者サロン等を見学し、地域と交流の輪が広がりました。



南戸塚中学校 福祉委員会

南戸塚中学校の約30名の福祉委員会は、毎年共同募金を周知するポスターを作成し、11月下旬に校門前で登校する生徒に募金を呼びかけます。

福祉委員会では以前からユニセフ募金やエコキャップ運動、被災地への募金活動の他、不要になった上履きを集めてベトナムの子どもに送るなど様々な活動に取り組んでいます。生徒たちは募金活動を通して達成感や責任感を感じているそうです。

上矢部高等学校 生徒会

上矢部高等学校生徒会は男子4名、女子5名の計9名で活動しています。

毎年、生徒会活動として、10月下旬の1週間、朝8時から登校する生徒に向けて募金を呼びかけます。この共同募金の呼びかけは毎年恒例の活動になっており、やりがいを感じたり、達成感を味わったりしているそうです。集まった募金はいろいろな福祉活動に役立ててほしいと話していました。



「社協とつか」は区民の方々から寄せられた共同募金の一部を用いて発行しています。

皆様から寄せられた赤い羽根共同募金は、身近な地域で「じぶんの町を良くするしくみ」として、戸塚区内で地域福祉活動をしている団体や障がい当事者のグループ等に配分し、活用されています。ここではその一部を紹介します。

配食サービスの会 ひまわり (配食グループ)

「自分でできることを地域のために活かしたい」と配食活動を始めて19年目になります。33人のメンバーがローテーションを組み、高齢者向けに水曜日は夕食を、金曜日は昼食のお弁当を作って、踊場地区を中心に見守りも兼ねてご自宅へ届けています。



▲この日のメニューは魚と野菜の甘酢漬け、トマトと卵のソテー、杏仁豆腐でした。

きらきら親子ひろば (子育て交流サロン)

今年で20年目を迎えた未就学児とその親のためのサロンです。「子育て支援は親支援」をテーマに、一人で子育てをするのではなく、みんなで楽しく子育てができるように活動しています。毎回20～30組の親子が参加し、歌や手遊び、親同士の交流も盛んです。毎月月曜日1～2回+イベントを年3回程度実施しています。



活動場所：戸塚区福祉保健活動拠点フレンズ戸塚

ほっとスペース ぴぐまりおん

発達障がい児対象の放課後余暇活動として、「どの子どもその子らしく生き生きと活動ができる場」を提供しています。平日の月・火・木に行っている放課後くらぶでは、もの作り(造形やクラフト)、学習の楽しさの体験、リトミック、遊びのレパートリーを広げるプログラムなどの多様な活動をしています。毎月第4土曜日の土曜生活塾では、生活スキルの獲得につながる活動として、自分たちで食材を買い、昼食作りをしています。この日はカレーを作りました。また、保護者の情報交換や交流を深める保護者会なども行っています。



活動場所：戸塚町 第二富士開発ビル4F

今年も皆さまのご協力を
お願いいたします。



今年の共同募金PR大使は野毛山動物園のインドライオン「ラージャーくん」です。

平成26年度 戸塚区社会福祉協議会 事業計画ダイジェスト

戸塚区社会福祉協議会は「誰もが住みなれた地域で安心して心豊かに暮らすことのできる地域社会の実現」に向けて取り組んでいきます。

1. 地域情報を集約し発信します *

生活に近いエリアでの住民同士のつながりによる見守り活動を推進し、把握された生活課題に対応できるよう、地区社協を中心とした支えあい活動のネットワークの充実を図ります。個別の生活課題を地域の活動として把握できるよう、地域ケアプラザや行政とも連携して支援をします。

2. 社協のネットワークを活かして、人と人をつなぎます *

福祉関係機関・団体、ボランティア・市民活動団体、当事者団体等、テーマ型の活動と地区社協等の地域型活動が連携し、ともに地域課題の解決に取り組めるようなネットワークを作っていきます。

3. ボランティアセンター機能の充実を図ります *

各種活動者の育成・支援、ボランティアに関する情報収集・提供を充実するとともに、新たな活動を支援する助成制度を引き続き実施します。また、解決困難な相談にも対応できるボランティアの育成を図ります。

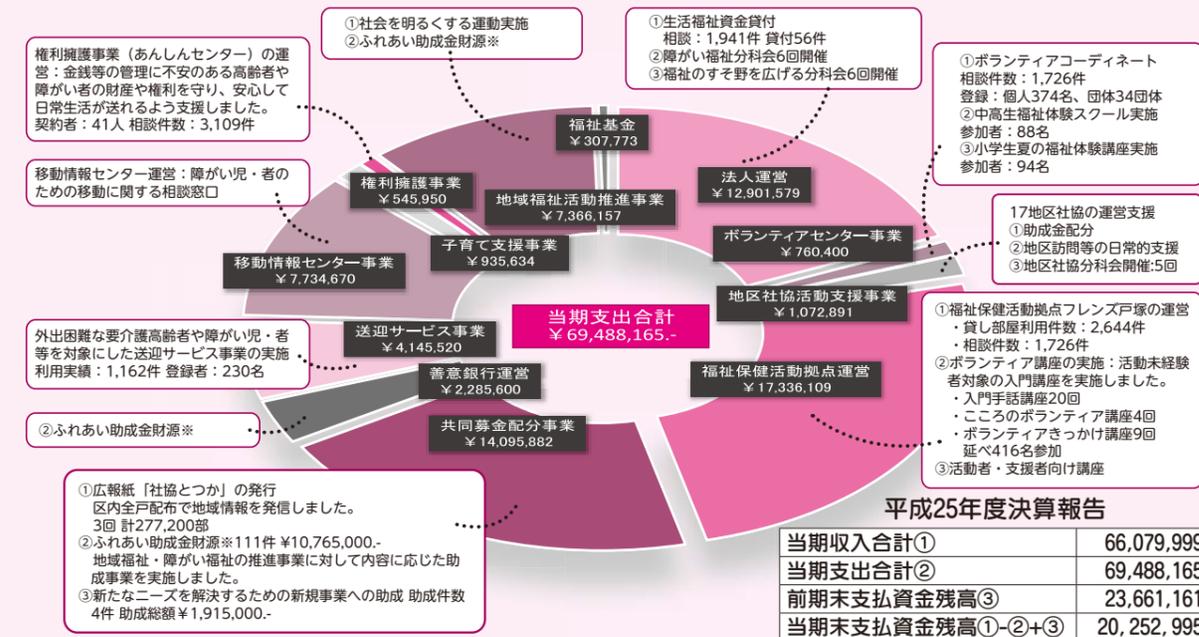
4. フレンズ戸塚15周年記念事業 *

今年度は「戸塚区福祉保健活動拠点フレンズ戸塚」が開所して15周年となり、その記念事業として11月に「被災地復興支援事業とつかボランティアバス」と「フレンズ戸塚まつり」を実施します。詳細は決まり次第、本会ホームページに掲載します。

平成26年度当初予算	
当期収入合計①	70,890,000
当期支出合計②	93,790,000
前期末支払資金残高③	22,900,000
当期末支払資金残高①-②+③	0

平成25年度事業報告ダイジェスト

ここでは25年度に行った事業の一部を紹介します。



編集後記

「赤い羽根共同募金」は皆さまの社会福祉への善意の寄付金です。今号は募金活動に協力されている小・中・高校生の取組みと、その寄せられた募金を一部財源としてボランティア活動をしているグループを紹介しています。この流れをご理解いただき、皆さまの地域福祉活動がいつそう発展できますようご協力を願っています。

編集長 天沼松次郎



ボランティア情報

2014年9月発行

社会福祉法人横浜市戸塚区社会福祉協議会とつかボランティアセンター

趣味を活かそう

アクティブシニア

アクティブシニアとは？

団塊の世代を中心とした65歳以上の方で
自分自身のライフスタイルや価値観をも
つ元気な層

最近、自分の趣味や得意な事を活かして、社会貢献の一環として「ボランティア活動」を選ばれる方が増えてきています。そこで、今回は、実際に音楽や芸能を中心に高齢者施設などで活動しているグループ「横浜鷗舟会」を紹介します。

「横浜鷗舟会」は、区内で音楽や芸能を中心に活動しているグループで、江差追分や日本全国各地の民謡をプログラムに盛り込み、それらを高齢者施設等で披露しています。皆さん、歌や踊りが好きな人が集まって学び練習したことを活かして社会貢献をしています。最高年齢は94歳とのことです。

私もボランティアをしてみたいと思った方、「アクティブシニアボランティア講座」に参加してみませんか？



アクティブシニアボランティア入門講座

- 日 時：10月7日(火)10：00～11：30
11月18日(火)10：00～11：30
* 2日とも同じ内容です。
- 場 所：戸塚区福祉保健活動拠点フレンズ戸塚
- 内 容：ボランティア活動をしたい人を対象とした入門講座。65歳以上が対象となります。
- 定 員：各回先着20名
- 申込み方法：お電話にてとつかボランティアセンターまでお申込みください。定員になり次第締め切りとなります。

フレンズ戸塚まつり

～フレンズ戸塚の過去(はじまり)、
現在(いま)、そして未来(あした)へ～
福祉保健活動拠点として、今年で開所して15年目となりました。興味のある方、ぜひご参加ください。

- 日 時：11月29日(土)
13：00～16：00 (予定)
* シンポジウム&感謝会
- 11月30日(日)
10：00～15：00 (予定)
* 活動発表&交流会
- 場 所：戸塚区福祉保健活動拠点
フレンズ戸塚

秋季入門手話講座 (全10回)

- 日 時：10月4日～12月13日の毎週土曜日
13：30～15：30 ※11月29日はお休みです。
- 対 象：戸塚区在住・在勤・在学で高校生以上の手話初心者
- 定 員：30名 (応募多数の場合は抽選)
- 場 所：戸塚区福祉保健活動拠点フレンズ戸塚
- 参加費：2,200円 (受講料1,000円・テキスト代1,200円)
- 申込み方法：はがきまたはFAX(045-862-5890) で下記を記入。
①受講希望講座名②住所③氏名④年齢⑤電話・FAX番号
⑥職業
宛て先：〒244-0003戸塚区戸塚町167-25
戸塚区社会福祉協議会
電話045-866-8434 FAX045-862-5890

とつかボランティアセンターのご案内

- ボランティア相談窓口
(戸塚区福祉保健活動拠点フレンズ戸塚1階)
月曜～土曜日 9：00～21：00
日・祝日 9：00～17：00
TEL：045(866)8483
FAX：045(862)5890
E-mail：volunteer@totsukashakyo.com